

NEWS LETTER

2014. 6月号

「宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部」の“今”を伝えます。



NewsLetter 2014年6月号 vol.45
2014年6月30日発行

Editor 永田久美子、金澤英樹(本学職員)
Art Director 渡邊哲意(本学准教授)、芦谷耕平(本学講師)
Designer 小野寺真央(イラストレーション領域4年)
松波恵(イラストレーション領域4年)
有馬ゆずか(マンガ領域3年)

東京新宿キャンパス
東京メディア・コンテンツ学部|大学院
〒160-0023 東京都新宿区西新宿七丁目11番1号
TEL:03-3367-3411
FAX:03-3367-6761
E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp



表紙写真
「版画工房エディション・ワークスでの四宮義幸講師」

HOT TOPICS

マンガ領域2年生の佐藤奈津美さん
「ジャンプSQ.」で新人賞受賞!

卒業生 はらまさきさんの作品が
「裏サンデー」にて連載開始!

「ジョジョの奇妙な冒険」第10話に本学学生がスタッフとして参加!

新宿・中井商工会を体感し、発信するユニークな授業
イラスト領域の4年生がリトグラフの製版過程を見学

鶴沼で、神楽坂で、歌舞伎町で、鎌倉で。学生がスキルを生かしてイベント参加!

授業紹介

グラフィックデザイン演習I 松吉太郎講師

教員紹介

アニメーション領域 芦谷耕平専任講師

学生紹介

マンガ領域3年生 石川千紗さん



卒業生 はらまさきさんの作品が 「裏サンデー」にて連載開始!

小学館のWEBコミックサイト「裏サンデー」にて、本学マンガ領域卒業生、はらまさきさん(ペンネーム)の作品「ラブ・ボーイ・ラブ」が連載スタートしました。これは昨年開催された裏サンデーの「第2回連載投稿トーナメント」3位入賞作品であり、賛否両論の同性愛を題材にした恋愛漫画です。

はらさんに聞きました!

裏サンデーにはWeb漫画ならではの読者コメント投稿欄があり、読んだ方のリアルな反応が瞬時にいただけます。「面白かった」「続きが気になる」という励ましコメントから、「つまらない」といった批判コメントもありますが、どんな内容でもこうして反響があることが何よりうれしいですね。また得票数による順位の動きも一目瞭然。人気が続けばコミックス化されるので、ぜひ応援お願いします(笑)。今はまだ下積み作家ですが、将来的には自分らしい自然体の漫画を描き、世間に認められる漫画家になりたいです。



©はらまさき/小学館・少年サンデー



<http://urasunday.com/ibl/>

マンガ領域2年生の佐藤奈津美さん 「ジャンプSQ.」で新人賞受賞!



マンガ領域2年生の佐藤奈津美さん(ペンネーム: 藤津一/埼玉県立和光国際高校出身)の作品「死にたがり男」が、コミック雑誌「ジャンプSQ.」(集英社刊)主催のマンガ賞『第13回クラウン新人漫画賞』で最終候補に選ばれました。

佐藤さんに聞きました!

1月に学内で開催された「編集者講習会」で、自主制作マンガ雑誌「NEO」Vol.5に掲載された作品を見ていただきました。その際、「ジャンプSQ.」編集者の方に「ジャンプ好きなのがよくわかる」と名刺をいただき、翌週に原案を数本持っていったところ、「これで行こう!」と言われて描いたのが「死にたがり男」です。画力の評価は低かったのですが、ストーリーや構成を評価していただけたのはうれしかったですね。指摘された画力を上げるためにこれから努力します。スピード感があって緻密な作品が描けるマンガ家になりたいです。



HOT TOPICS

授業紹介

教員紹介

学生紹介

今後の予定

新宿・中井商工会を体感し、 発信するユニークな授業



田島講師に聞きました!
 本学の学生はマンガやプログラミング、映像などの高いスキルを持っていきます。この授業では、中井商工会の人々と触れ合い、そこで感じた人や地域の魅力をどう表現すればいいかを考え制作します。またこのプロジェクトは学内だけでなく、嘉悦大学や中井商工会で働く人々などと連携しながら進めています。視点やスキル、経験も違う大学生と社会人のグループワークの中で、時に意見を戦わせながら、自分の表現を社会に発信するための調整力や、個人の力では生み出せないものを作るための適応力を培います。この経験は、数年後に社会に出て仕事をすることに直結します。

本 キャンパスは東京・新宿にあることから、さまざまな形で新宿区の活性化に取り組んできました。今年度からスタートした授業「メディア社会学」(担当教員・田島悠史専任講師)では、現在、「新宿区の中井商工会を広く発信するメディアを作ろう」というユニークな取り組みをしています。



「ジョジョの奇妙な冒険」 第10話に本学学生が スタッフとして参加!

HOT TOPICS

授業紹介

教員紹介

学生紹介

今後の予定

→の4月よりTOKYO MXほかで好評放映中の「ジョジョの奇妙な冒険」TVアニメ第3部「スターダストクルセイダース」では、本学芦谷耕平専任講師が総作画監督補佐を務めています。このたび第10話のキャラクター作画と修正作業(第二原画)に本学学生・院生・卒業生(津畑春香・竹田陽介・久米紗綾・荒澤光子・泰田楓・謝芸鵬・室屋敦洋・涂泳策・鄭翰豊・中込健人・川端新)が参加し、プロフェッショナルな仕事の現場で貴重な体験をしました。



小美野さんに指導を受ける学生たちッ!!

芦谷講師に聞きました!

そもそものキッカケは、5月に開催したオープンキャンパスで、「ジョジョ」のキャラクターデザイン/総作画監督の小美野雅彦氏をお招きしたことでした。アニメーターが不足しているとのことで、有志の学生と卒業生に予め課した課題を小美野氏に見ていただき、その場で直々に個別指導していただいた上で、「では試してみようか?」ということに。実際にプロと一緒に仕事をするとという貴重な経験をした学生たちは非常に勉強になりましたし、あちらからは「助かりました」と感謝の言葉もいただきました。また10話のエンドロールには参加した卒業生・学生スタッフたちの名前も入れてもらい、素晴らしい経験になったと思います。

Event Report

Event 2

神楽坂青空市



新宿区神楽坂の神楽坂商店街で、「神楽坂青空フェスタ」が開催されました(5月18日)。イラストレーション領域の学生3名と卒業生とが似顔絵と缶バッジ制作で参加。来場者には家族連れが多く、子どもたちに大いに喜ばれていました。

Event 4

鎌人いち場



鎌倉市由比ガ浜にある鎌倉海浜公園で開催されたイベント「第11回鎌人いち場」に渡邊ゼミの学生たちが参加し、ボディペイントのワークショップブースを出展(6月1日)。多くの子どもたちに大変好評でした。

Event 1

本鵜沼はす池 通り物語イベント



藤沢市本鵜沼の商店街活動と地域活動プロジェクト「本鵜沼はす池通り物語」が実施した母の日イベント「本鵜沼ロータスカフェ」に、デザイン表現ゼミの1年生が参加し、店舗デザインや販売を担当。多くのお客様で賑わいました(5月10日)。

Event 3

第11回歌舞伎町農山村 ふれあい市場



新宿区立大久保公園にて農山村ふれあい市場が開催されました(6月1日)。イラストレーション領域の学生2名、卒業生1名が参加し、出品者や来場者の似顔絵を描き、市場終了後は農産物をお土産にいただいて帰りました。

- HOT TOPICS
- 授業紹介
- 教員紹介
- 学生紹介
- 今後の予定



イラスト領域の4年生が「リトグラフ」の製版過程を見学

毎年イラストレーション領域の4年生が楽しみにしている「深大寺遠足」が、今年も5月16日(金)に賑やかに実施されました。これはイラストレーション領域の授業の一環で、四宮義幸講師と版画工房「エディション・ワークス」を訪れ、リトグラフの製版過程を見学するのが目的です。普段なかなか見ることのできないリトグラフの製版過程を四宮講師から説明を受けながら見た学生たちは、勉強になったと同時に、みんなで「遠足にでかける」ことを楽しんでいました。



- HOT TOPICS
- 授業紹介
- 教員紹介
- 学生紹介
- 今後の予定



出会いを大切にしていれば
夢は自然に近づいてくる

アニメーション領域
芦谷耕平 専任講師

中学になると少年ジャンプで「スラムダンク」の連載が始まり、これに影響されてバスケット部に入部。井上雄彦先生の絵を模写し始める日々でした。また小学校時代から好きだったマンガ「ジョジョの奇妙な冒険」の魅力にも取り憑かれていきました。「なんてすごい長編マンガなんだろうーこんな仕事ができたら…」と憧れは募り、この頃からクリエイティブな仕事を意識したように思います。高校ではクラスの友人に「オレ

友人を主人公にした長編バスケマンガが自信に

自作キャラをゲーム化して遊んだ小学生時代

僕はものごころつく前から「お絵かき」をしていた子どもだったようです。子ども時代で覚えているのは、小3の頃、絵が好きでパソコンが得意な友達と一緒にゲームイベントをやったこと。仲間からイラストを集めてキャラを作り、パソコンの中で戦わせるんです。このとき、絵が得意じゃないヤツも一緒になって盛り上がったことが「絵で人を楽しませたい」と思った僕の原体験かもしれませんね。

改めて思うのは、出会った多くの人々が、僕の人生を道案内してくれたということ。僕は、大切な人への年賀状には相手への思いを込め、その人を主人公にしたマンガを描いたりしています。「人との出会いは人生の財産。そして夢をあきらめるな」と学生には伝えていきます。

その時々に出会う人とのつながりを大切に

日大芸術学部を卒業後、マンガ家になろうと出版社の担当もついていた頃、実家の事情で急きよ就職しなくてはいけなくなりました。すると学生時代にお世話になった先生から声がかかり、助手として就職。その後IT企業に転職し、デザイナーとして仕事も軌道に乗ってきた頃、日大時代の恩師から宝塚大学の教員の話が…。悩んで社長に相談したところ「がんばれ！」と背中を押してください、現在に至っています。

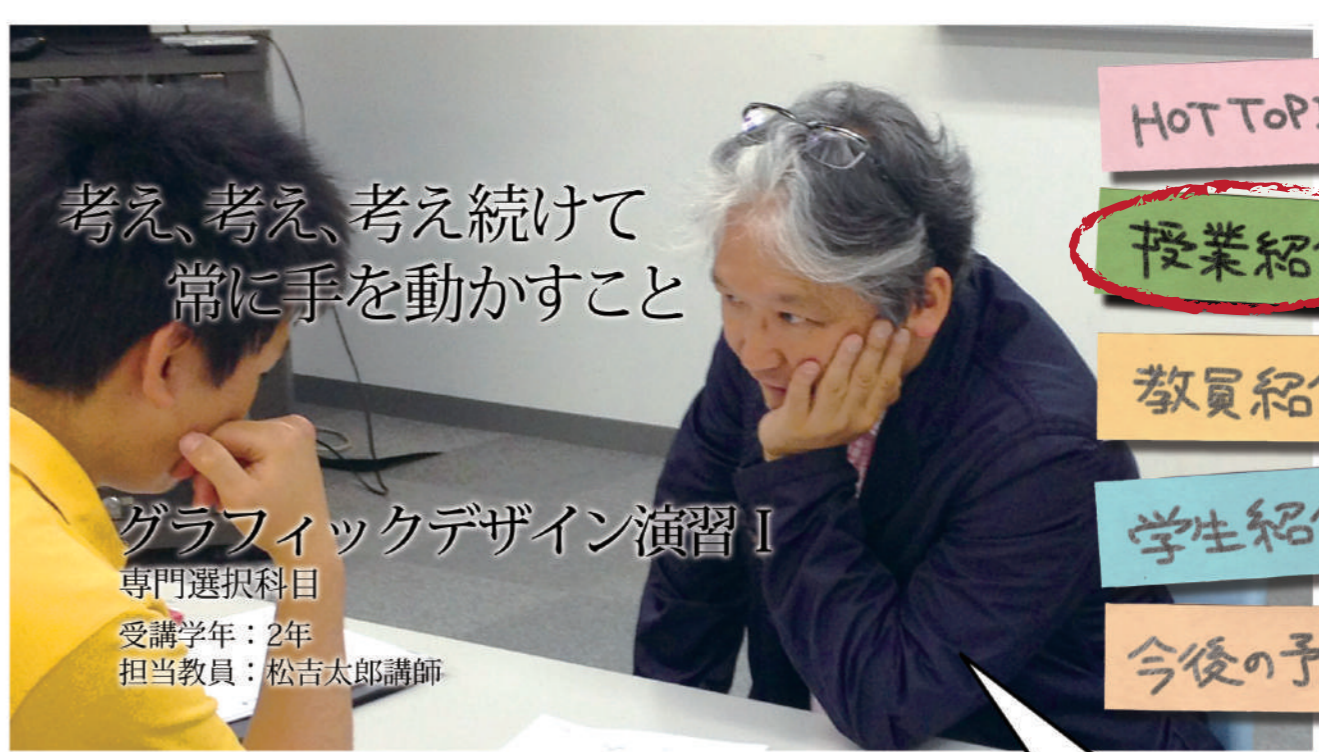
★芦谷耕平専任講師プロフィール
宝塚大学東京メディア・コンテンツ学部で教鞭を執る傍ら、アニメーターとして活動する他、個人で映像制作・漫画制作活動を行っている。また、株式会社コピキタス・エンターテインメントにてデザイナーも務めている。日本映像学会会員。



6月7～9日
日本映像学会大会沖縄大会にて
芦谷講師が研究発表

現在、「ジョジョの奇妙な冒険」の総作画監督補佐を務める芦谷講師。前シリーズよりさらに発展・進化したポイントについて、総作画監督補佐の立場から研究発表しました。

宝塚大学は、学生同士も先生と先生との関係も近く濃い大学。この縁で僕は今憧れの「ジョジョ…」の総作画監督補佐の仕事をしています。この大学では多くを学ぶと同時に、将来の財産となる人とのつながりを得てほしいですね。

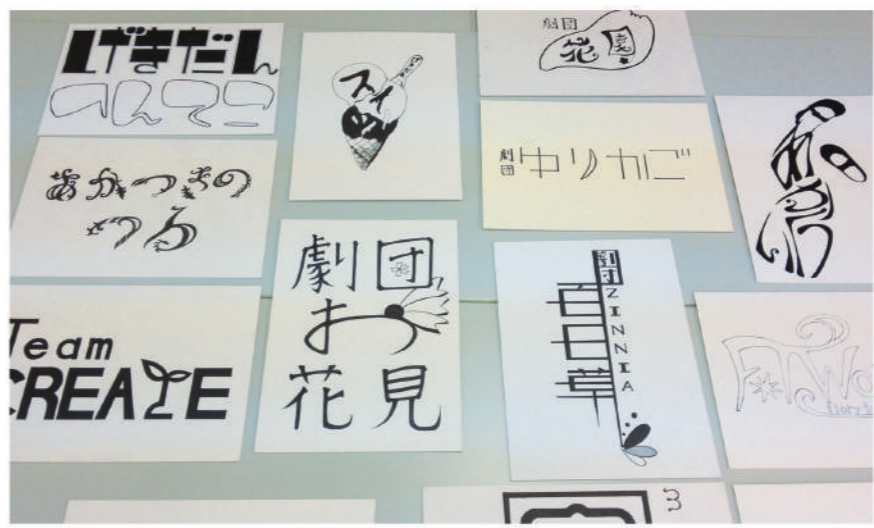


考え、考え、考え続けて
常に手を動かすこと

グラフィックデザイン演習Ⅰ

専門選択科目
受講学年：2年
担当教員：松吉太郎講師

- HOT TOPICS
- 授業紹介
- 教員紹介
- 学生紹介
- 今後の予定



★松吉太郎講師プロフィール
1962年 東京都生まれ。
1986年 田中一光デザイン室入社。
1997年 松吉太郎デザイン事務所設立。
日本タイポグラフィ協会、(社)日本グラフィックデザイナー協会会員。

デザインの基本を学ぶのに演劇は最適

この授業の狙いはグラフィックデザインの基本的表現を身につけることです。私が仕事でよく携わる演劇まわりの制作物は、グラフィックデザインの基本的な演習をするのにちょうどいいので、この授業では演劇をモチーフにしたデザインに取り組んでいるのです。例えば劇団のロゴを作ることでタイポグラフィを学べますし、パンフレットの制作では編集デザインをひと通り経験することができず。戯曲は「夕鶴」などの名作5本から1本を選び、必ず事前にしっかりと読み込んでもらうようにしています。前回までに架空の劇団のロゴデザインがほぼ終わり、今日の授業ではポスターのアイデアを考えているところです。

またこの授業はイラストレーション領域の学生が多く受けることになるので、イラストレーションを主体としたデザインを課題にしています。イラストレーションは、良いデザインをされると更に生き生きするもの。2年生の今のうちに、デザインを見る目をしっかりと養ってほしいと考えています。

「考え続けるクセ」があればどんな要求も怖くない

グラフィックデザインは、考えて、考えて、たくさんアイデアを出し続け、手を動かすことで上達します。授業だけではとても追いつかないため、私は学生たちに「100案出しなさい」と口酸っぱく言っています。100案という大変なようですが、真剣に考え続ければあつという間に出るものです。

クリエイティブの世界には、正解はありません。こちらがいいと思っても、演出家の考えが違っていれば答えは「NO」です。そのとき、「ではこっちはどうだろう？」と即座に次の提案ができるかどうか？「考えるクセ」が身についていれば何が来ても恐れる必要はないし、臨機応変に対応できるようなります。要は数が大切なのではなく、とにかく考え続けるクセをつけることが大事。学生はどれがいいかわからない場合があるので、この授業では彼らのいいところを見つけ、伸ばすようサポートしています。グラフィックデザインを好きになるキッカケにしてほしいですね。

HOT TOPICS

授業紹介

教員紹介

学生紹介

今後の予定

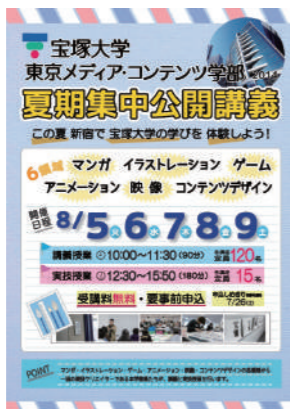
オープンキャンパス



日時：7月27日(日)、8月2日(土)
8月23日(土)
10:00～16:00
会場：宝塚大学 新宿キャンパス

主な内容：大学紹介、入試説明・相談、
領域紹介、特別授業、ワークショップ、
相談コーナー、在学生とのフリートーク、
保護者相談会など

2014 宝塚大学「夏期集中公開講義」



日時：8月5日(火)～8月9日(土)
10:00～15:50
会場：宝塚大学 新宿キャンパス

本学の学びを体験していただく場として、
「夏期集中公開講義」を開催いたします。
受講料無料となっておりますので、ぜひご
参加ください。(要予約)

HOT TOPICS

授業紹介

教員紹介

学生紹介

今後の予定

得意分野の違う人と 制作する授業が楽しみ!

マンガ領域3年生
石川千紗さん
(山形県鶴岡中央高等学校出身)



私は山形県の海の近くで育ったので、子ども時代は自然の中でのびのび大らかに過ごしました。「ちゃお」などの少女マンガを読んだり、落書きして遊ぶのが大好きな女の子でした。

小6のとき、読書感想画コンクールがあつて、熱心な先生に教えてもらいながら、初めてじっくり丁寧に絵を描きました。これが、自分が絵にきちんと向き合った初めての経験だったように思います。小学校の卒業文集には、「大人になったらマンガ家になりたい」と書いたのを覚えています(笑)。

中学からは吹奏楽部一色の生活でしたが、そんな中でも絵を描く仕事は何かと私に回ってきました。クラス新聞の挿絵や修学旅行のしおりの表紙絵、吹奏楽部の演奏会ホスターなども任されていました。絵を描くのは好きだったので、楽しんで描いていました。

高校はあえて自由な時間を満喫しようと帰宅部を選びました。この時期に、少女マンガだけでなく「少年ジャンプ」や「少年マガジン」など、様々な少年マンガも読んでいました。

「将来はマンガ家に」と書いた卒業文集

高校卒業後はとにかく画力を上げたい一心で、マンガコースのある専門学校に進み、マンガの基礎を学びました。ここでは学生の作品を講評してもらって授業があり、たまたま描いたナンセンスギャグマンガを、先生はじめ友達に高く評価され、自分でもビックリ! でもこの経験は、私にしか描けない世界観があるかもしれない、という自信につながりました。

その後、キャラクターデザインに興味を持ち、もっと勉強したいと思っていたところ、宝塚大学の存在を知りました。オープンキャンパスに行くと、専門学校の単位でも3年次から編入でき、自分が学びたいデザイン系のカリキュラムがしっかりしていて、先生と学生の距離が近いところに惹かれました。そうして晴れてこの4月から3年生として編入することになったわけです。

今、もっとも刺激的なのが「メディア社会学」という授業です。今は新宿の住宅街の中にある、比較的静かな商店街を取材し、外に向けて発信する作品づくりに取り組んでいます。担当の田島先生は大学生をできる限り社会に近づけようと情熱的に

専門学校の単位でも編入できたことに感謝



産学連携のデザイン制作にも参加。

サポートしてくださっています。これからグループでの作業に入りませんが、イラストやデザインなど、領域の違う人と組んで仕事をすることに、今、とてもワクワクしています。